2021年度事業の実績

Ⅰ 大学改革の実施について

第三期中期計画（2020年度～2024年度）の2年目として事業計画を実施しました。

教学組織の改編として、大学では大学院看護学研究科（修士課程）、及び助産学専攻科を開設したほか、人間学部心理コミュニケーション学科の入学定員増（48名から68名へ）、国際コミュニケーション科の入学定員減（100名から80名へ）などの定員変更を実施しました。

Ⅱ 教育活動について

建学の精神の実現

カトリック校としてのアイデンティティの維持、地域への浸透のため、活動を実施しました。建学の精神関連科目の必修化、清泉講座、静修会、キャンパスミサ、教職員研修会などを行い、学生が「建学の精神」の学びを生活にも活かしていけるよう教育に取り組むとともに、アドヴェント（待降節）の集いなどを通して学外へも伝わるよう努めました。

授業の実施方法

新型コロナウイルスの感染症について危機対策本部を設置し、本学行動基準により対応しました。感染症対策を講じ、対面授業を実施しました。

〈大学〉

①教育の質保証

各授業の授業改善アンケート及び学期末のルーブリックアンケートを実施し、「身につける7つの力」を用いてディプロマ・ポリシーを定期的に評価する仕組みを稼働させ、学習成果の達成を図る検証システムを展開しました。

②人間学部2学科の教育

各学科・コースで国家資格課程に向けたカリキュラムの実施と取り組みの安定化を図りました

心理コミュニケーション学科では公認心理師資格に関連した実習、再課程認定対応の英語教職課程のカリキュラムを実施しました。

文化学科では、四年次の専門応用演習ゼミを開始しました。2023年度図書館司書課程の導入に併せて、カリキュラム改定案の策定を開始しました。

③看護学部看護学科の教育

開設3年目にあたり、設置認可申請に沿って講義・演習・実習等の着実な授業運営を実施しました。3年生は後期に病院・施設等で領域別実習に臨みました。

〈短大〉

①教育の質保証

アセスメント・ポリシーを踏まえ、3つのポリシーに対応した「学習成果」の獲得状況について具体的な指標に基づき、評価・検証を行いました。このようなPDCAに基づいた教育研究、組織運営並びに施設設備等の総合的状況について、一般財団法人大学・短期大学基準協会による令和3年度短期大学認証評価の結果、適格と認定されました。

②幼児教育科

認定絵本士のカリキュラムを運用し約30名が認定されました。

引き続き入学前教育の重点化としての基礎学力、日本語力を確保する工夫、通信添削講座の受講の促進等の強化を図りました。

③国際コミュニケーション科

2022年度からスタートする新カリキュラムの内容、履修方法を確定させました。

上級情報処理士、上級秘書士に加え、上級ビジネス実務士（国際ビジネス）、上級秘書士（メディカル秘書）、環境マネジメント実務士の3資格を申請しました。また、各種検定の合格率の向上のためオンラインコンテンツの充実を図りました。

Ⅲ 教員の研究活動について

共同研究発表会や学術交流会は、感染症の影響により開催を見送りました。研究倫理については、外部のeラーニングプログラムを利用して研修を行いました。感染防止のための在宅勤務など勤務状況に応じた研究活動、教員数の増加や学術領域の拡大、研究費支払い方法の多様化等により、研究費執行の手続きの見直しを検討事項としました。

Ⅳ 学生生活の支援について

上野キャンパスと長野駅東口キャンパスの連携を密にして学生生活の支援を行いました。

①奨学金制度

奨学金制度を分かりやすく広く周知し募集に繋げました。とくに国の修学支援制度の告知、募集活動を積極的に実施し、経済的支援を行いました。

②通学支援

1限目と2限目に三才駅からスクールバスとマイクロバスを運行し、夕方もマイクロバスを運行しました。バスを利用する学生には、定期券購入代の補助を継続して行いました。

③ケア体制

メール連絡網システムにより、災害時のほか学生の安全確認、各種の情報提供を実施しました。

欠席調査を行い早期に教職員で情報を共有し、退学者の防止、個々の学生に合わせた細やかな学生支援に努めました。一人暮らしの生活講座（料理・防犯・健康管理）をオンラインで開催し、下宿生が安全に生活できるよう支援しました。

④キャリア支援（就職活動支援）

教職員間で学生情報の共有と連携を図り、効果的な就職活動支援を行いました。ガイダンス、セミナーの開催、キャリア系授業との連携、インターンシップの推進を行い、職業意識の形成と学習意欲の喚起、自立心の向上に役立てました。

既存の学部学科に加え、文化学科・看護学科の特色を生かした新しい領域の企業・医療機関・外部機関との関係強化、情報収集を行いました。

Ⅴ 保護者、地域との連携について

①保護者・卒業生との連携

泉会（保護者会）総会を書面議決で行いました。『カレッジ通信』（年2回）を発行し、学内外での活動の様子をお知らせしました。卒業生（卒業後3年経過者）を対象にアンケート調査（就業状況、学生生活の感想など）を実施し学内の取り組みの参考にしています。

②地域との連携

地（知）の拠点として生涯学習を展開、公開講座は19講座144名の参加者があり、出張講座は7講座を開講しました。新たに学術・学識探求を目的に「SJCアカデミック講座」、実学探求を目的に「専門職講座」を開講し、計5講座138名の社会人や学生がより高度な学びを深めることができました。

学生ボランティアは、感染症のため活動が大きく制限されましたが、延べ366名が参加し、地域に貢献しました。

Ⅵ 学生の募集・受け入れについて

オープンキャンパスは対面とオンラインの併催で8回、入試説明・相談会は4回実施しました。総合型選抜、学校推薦型選抜は定着し、予定する年内入学者は確保することができましたが、年明け一般選抜での志願者が減少したため、追加で特別入試を実施しました。

清泉百年プロジェクトと「募集広報」をシンクロさせる大学広報スタイルを堅持し、「私は清泉女子。」シリーズの第二弾企画をTVスポット、印刷物、交通広告等で展開しました。

Ⅶ 施設設備の維持・充実について

上野キャンパスにおいては、アクティブ・ラーニング等に適した授業を展開するため視聴覚機器等の更新、照明機器のリニューアル（LED化）工事やトイレの洋式化工事など、経年劣化した設備の維持的投資を継続して行いました

長野駅東口キャンパスにおいては、看護学部の設置計画に沿って校具・教具を購入しました。また、学生数並びに教員数増加に対応するため、一部設備を改修しました。

Ⅷ 外部資金について

国庫の経常費補助金の一般補助では、教育の質にかかる客観的指標及び学生確保の取り組みからほぼ前年並みの補助金を獲得しました。特別補助では、感染症対策、数理・データサイエンス・AI教育の取り組みにより新たな補助金を獲得しました。清泉百年プロジェクト寄附事業は感染症の影響から積極的な募集を自粛したこともあり、前年度を大幅に下回りました。

Ⅸ 管理運営・財政基盤の充実について

第三期中期計画（2020～2024年度の5年間）を遂行し、教学組織の整備、定員の変更、共通教育を含む教育課程の見直し、教育環境の整備、働き方改革等に対応した就業規則の改正を行いました。実施状況を自己点検評価とも連動させて確認し、計画達成のための実質的なPDCAを展開しています。

財政基盤の充実については、教育研究水準を保つことを前提に、全体見込額を各部署に割り当てる予算編成、経費計画を設定し、財政の安定を図っています。

2021年度　財務の概要について

2021年度の財務の概要につきまして、次のとおりご報告申し上げます。
財務概要は、学校法人会計基準に定める資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表の３表に基づいて作成されています。また、財産の内容については財産目録によっています。

①資金収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

【収入の部】　（単位：千円）

科　　目	法人全体	大　学	短　大
学生生徒納付金収入	3,939,608	773,750	361,265
手数料収入	43,700	10,380	5,280
寄付金収入	177,903	19,877	13,680
補助金収入	827,467	89,492	81,792
国庫補助金収入	176,297	89,204	81,589
地方公共団体補助金収入他	638,786	288	203
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	62,628	473	305
受取利息・配当金収入	1,036	7	5
雑収入	161,234	14,934	9,578
借入金等収入	11,250	0	0
前受金収入	813,930	56,485	40,040
その他の収入	247,516	12,633	6,339
内部資金収入	—	2,398	116
資金収入調整勘定	△1,000,139	△74,196	△51,573
前年度繰越支払資金	5,504,292	△2,200,469	2,597,878
収入の部合計	**10,790,425**	**△1,294,236**	**3,064,705**

【支出の部】　（単位：千円）

科　　目	法人全体	大　学	短　大
人件費支出	3,615,491	617,816	307,656
教育研究経費支出	1,003,820	219,883	112,146
管理経費支出	419,765	59,859	34,066
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	14,700	0	0
施設関係支出	110,593	13,076	6,213
設備関係支出	106,733	14,290	5,239
資産運用支出	447,224	5,015	4,468
その他の支出	122,550	7,316	4,558
内部資金支出	—	13,952	5,631
資金支出調整勘定	△98,806	△12,215	△5,836
次年度繰越支払資金	5,048,355	△2,233,228	2,590,564
支出の部合計	**10,790,425**	**△1,294,236**	**3,064,705**

③貸借対照表

2022年3月31日

【資産の部】　（単位：千円）

科　　目	法人全体	大　学	短　大
固定資産	24,008,842	2,034,658	1,895,100
有形固定資産	14,682,907	1,869,988	1,689,047
特定資産	9,236,178	79,653	205,884
その他の固定資産	89,757	85,016	169
流動資産	5,318,948	△2,224,275	2,596,960
資産の部合計	**29,327,790**	**△189,617**	**4,492,060**

【負債の部】

科　　目	法人全体	大　学	短　大
固定負債	573,571	107,388	117,500
流動負債	1,143,915	68,869	46,325
負債の部合計	**1,717,486**	**176,257**	**163,825**

【純資産の部】

科　　目	法人全体	大　学	短　大
基本金	25,859,880	2,691,557	3,120,311
繰越収支差額	1,750,424	△3,057,431	1,207,924
純資産の部合計	**27,610,304**	**△365,874**	**4,328,235**
負債及び純資産の部合計	**29,327,790**	**△189,617**	**4,492,060**

［事業・収支報告書概要］

2021年度の事業及び収支決算書については、本学院監事と監査法人による監査を受け理事会・評議員会に諮り、承認を受けています。

事業活動収支計算書においては、事業活動収入は1,389,491千円（大学・短期大学合計）になりました。対して事業活動支出は1,543,363千円（大学･短期大学合計）となり、153,872千円の支出超過となりました。

※ 計算書の表記は法人全体、大学、短期大学別に作成をしております。

※ 財産目録に関しては、大学及び短期大学の校地・校舎などの施設設備が同一敷地内で共用しているため合算の表記となっています。

②事業活動収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

（単位：千円）

	科　　目	法人全体	大　学	短　大
教育活動収支	**事業活動収入の部**			
	学生生徒納付金	3,939,608	773,750	361,265
	手数料	43,700	10,380	5,280
	寄付金	155,302	20,494	13,853
	経常費等補助金	820,749	89,492	81,792
	国庫補助金	174,318	89,204	81,589
	地方公共団体補助金他	634,046	288	203
	付随事業収入	62,628	473	305
	雑収入	161,174	14,934	9,578
	教育活動収入計	**5,183,161**	**909,523**	**472,073**
	事業活動支出の部			
	人件費	3,637,981	620,200	312,123
	教育研究経費	1,438,994	349,377	140,922
	管理経費	457,695	64,863	36,270
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	**5,534,670**	**1,034,440**	**489,315**
	教育活動収支差額	**△351,509**	**△124,917**	**△17,242**
教育活動外収支	**事業活動収入の部**			
	受取利息・配当金	1,036	7	5
	その他の教育外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	**1,036**	**7**	**5**
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	**0**	**0**	**0**
	教育活動外収支差額	**1,036**	**7**	**5**
経常収支差額		**△350,473**	**△124,910**	**△17,237**
特別収支	**事業活動収入の部**			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	31,479	1,144	94
	本部負担金収入	—	0	0
	内部取引（入）収入	—	6,529	116
	特別収入計	**31,479**	**7,673**	**210**
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	5,280	14	11
	その他の特別支出	21	0	0
	本部負担金	—	11,852	5,631
	内部取引（出）支出	—	2,100	0
	特別支出計	**5,301**	**13,966**	**5,642**
	特別収支差額	**26,178**	**△6,293**	**△5,432**
基本金組入前当年度収支差額		△324,295	△131,203	△22,669
基本金組入額合計		△292,225	△56,500	△1,000
当年度収支差額		**△616,520**	**△187,703**	**△23,669**
前年度繰越収支差額		2,347,801	△2,874,089	1,228,254
基本金取崩額		19,143	4,361	3,338
翌年度繰越収支差額		**1,750,424**	**△3,057,431**	**1,207,923**
（参考）				
事業活動収入計		5,215,676	917,203	472,288
事業活動支出計		5,539,971	1,048,406	494,957

④財産目録

2022年3月31日

（単位：千円）

区　　分	法人全体	大学･短大合計
1. 基本財産	14,682,907	3,559,035
土地　175,680.40（19,834.73）㎡	7,369,175	422,720
建物　64,611.98（17,078.57）㎡	6,218,124	2,616,104
構築物　437（75）点	185,791	34,133
機器備品　5,852（1,802）点	369,028	196,495
図書　202,954（90,147）点	539,636	288,602
その他	1,153	981
2. 運用財産	14,644,883	743,408
現金預金	5,048,355	357,335
その他	9,596,528	386,073
資産総額（基本財産＋運用財産）	**29,327,790**	**4,302,443**
1. 固定負債	573,571	224,888
長期借入金	0	0
その他	573,571	224,888
2. 流動負債	1,143,915	115,194
短期借入金	0	0
その他	1,143,915	115,194
負債総額（固定負債＋流動負債）	**1,717,486**	**340,082**
正味（純財産）（資産総額－負債総額）	**27,610,304**	**3,962,361**

※ 区分欄の（　）内は大学・短期大学合計